

環境に配慮した上質な暮らしを意味する「エシックな生活」の提唱者である小原淳氏。現在、NPO法人アースワーカー＆エナジーで環境問題にアプローチしながら、株式会社コンフォートメディア、小原木材株式会社で具現化させていくという両輪で社会課題に挑む。人類の共通価値を生み出し続ける氏のデザイン哲学に迫る。



**小原 淳**  
Atsushi OBARA

NPO法人アースワーカー＆エナジー 理事長  
株式会社コンフォートメディア 代表取締役  
小原木材株式会社 代表取締役社長

[www.comfortmedia.jp/](http://www.comfortmedia.jp/)  
[www.obaramokuzai.jp/](http://www.obaramokuzai.jp/)

## ゼロからイチを生み出す 「エシック」デザインの伝道師

### 誰もが笑顔になれる社会へ

学生時代から、ゼロから価値を作っていくことに興味があつた私は、文化学院建築科を卒業した後、デザイン留学のためにイタリアに渡りました。帰国後、私がチャレンジしてみたいと思っていた、ゼロから何かを生み出す仕事を探してみました。が、なかなか見つからず、結局、自ら始めようと23歳の時に個人事務所を立ち上げました。

最初の4年ほどは仕事がなく別の事務所に在籍しながら働いていましたが、27歳の時に生活デザイン事務所を立ち上げ、独立しました。生活をデザインするため、コンセプト作りから始まり、部屋の間取りやライティング、家具、調度品、食器や箸に至るまでをデザインしました。その他には会社の事業計画を考えてほ

しいという依頼もあり、当時は、仕事の大小にかかわらず、クライアントの依頼に対し期待に応えていくことにやりがいを感じていました。転機になったのは、32歳の時に携わったバリ島のリゾート開発の仕事です。今こそ、フェアトレードという考え方は一般的になっていましたが、当時は資本を持つ先進諸国が、発展途上国を利用して利益を上げるというビジネスモデルがまかり通っていた時代です。インドネシアは関税が高く予算オーバーしてしまうため、この案件では初めて全ての資材を現地調達することになりました。すると、1泊3万円のスタンダードクラスの部屋を作る現地の人の年収が3万円という現実を目の当たりにし、これまで自分の中にあつた価値観が揺らぎ始めました。

一方で、年収3万円で暮らしている人たちには、毎日、家族と一緒に暮らしている中に笑顔がありました。私は、バブルの問題点はそこだと思っています。デザインの力で誰もが笑顔になる豊かな暮らしを作りたいと願つてきましたが、これまでの仕事のやり方は間違っているのではないかと思うようになり、すでに依頼のあつた仕事をやり遂げた38歳の時に自分の会社を辞めました。

その時に考えていたのは、金銭的な価値観ではなく違う視点で豊かな暮らしを再定義していかなければならぬということです。そこで頭をよぎつたのが環境問題です。1991年、環境と産業のバランスを保つアースワーカー＆エナジーを一人で立ち上げました。これが今の仕事の軸となっています。

エシックな暮らしをデザイン

仕事に対する考え方を180度転換させたことで、私にとって心地よい仕事、心地よい人たちと出会えます。90年代半ばからは、環境を軸にした製品を手がけるようになります。その後の仕事にも広がっています。1994年に大手デベロッパーから新しいマン

ション構想を考えてほしいという依頼を受けたのもその一つです。建築素材には塩ビを一切使用せず、床材には自然素材であるリノリウムを採用するなど住環境にこだわりました。また、シックハウスの問題に対応するため、ダニが潜みにくいカーペットを関西のカーペットメーカーと一緒にゼロから開発しました。通常の建築士はサンプル帳を見て、そこに掲載されているものを採用しています。しかし、環境に優しい住環境を考えると、白紙の状態から本当に必要なものかどうかを精査しなければなりません。こうした考え方は、一般的にエシカルデザインと呼ばれていますが、エシカルには道徳という意味があります。道徳的なデザインとなると、伝わりにくいので私は、こうし

た環境に配慮した上質な暮らしを意味するエコロジカル&シックという言葉から「エシック」という造語を作り、環境に配慮した空間デザインに取り組んでいます。

環境問題に取り組む以上、倫理観が絶対に必要になります。例えば、木々を伐採することを環境破壊として全て否定してしまうと、人間は裸で生活しなければならなくなります。人も、動植物と同じように地球上で一緒に暮らしている生き物です。そのため、環境に配慮することは決して人の暮らしのものを否定するものであつてはなりません。ただ、限度は必要です。

人はどのようなライフスタイルを送れば、自然と共生できるのかという倫理観が極めて重要になります。

### ■おばら あつし プロフィール

株式会社コンフォートメディア 代表取締役  
小原木材株式会社 代表取締役社長  
ダントーホールディングス株式会社 取締役  
特定非営利活動法人アースワーカー＆エナジー 理事長  
文化会館「美丘」館長  
葵丘俱楽部 常務理事  
株式会社 社会価値創造研究所 取締役  
公益財団法人 服部公益財団 理事  
西三河林材団体連合会 会長

1951年12月23日、愛知県岡崎市生まれ。1973年文化学院建築科卒業。4年間、製造業での企画に携わった後、26歳にて独立。「仕事場も生活空間」「エシックな生活」をモットーに、建築設計、インテリアデザイン、企業コンサルティング、商品企画・開発など、生活総合コンサルタントとして、幅広い分野に携わる。

**略歴**

- 1974年 2月 株式会社S.K.デザイン勤務
- 1978年 6月 生活デザイン事務所開設
- 1986年 7月 小原インターナショナル株式会社設立
- 1990年11月 株式会社コンフォートメディア設立
- 1995年 5月 小原木材株式会社 顧問就任
- 1996年 4月 文化会館「美丘」館長就任
- 8月 葵丘俱楽部 常任理事就任
- 9月 非営利団体アースワーカー＆エナジー設立  
環境ボランティア活動に従事
- 1997年 3月 ダントーホールディングス株式会社 顧問就任
- 1998年 ダントーホールディングス株式会社 監査役就任
- 1998年 服部公益財団 理事就任
- 2000年 1月 小原インターナショナル株式会社に株式会社コンフォートメディアを統合し、社名を株式会社コンフォートメディアに変更
- 2001年 5月 小原木材株式会社 取締役就任
- 11月 内閣府認証 特定非営利活動法人アースワーカー＆エナジー設立 理事長就任
- 2002年 5月 小原木材株式会社 代表取締役社長就任
- 2003年 JDCA日本デザインコンサルタント協会 幹事就任
- 2004年 5月 学校法人服部学園めぐみ幼稚園 理事就任
- 2005年 12月 株式会社 社会価値創造研究所 取締役就任
- 2006年 7月 ダントーホールディングス株式会社 取締役就任
- 2012年 5月 公益財団法人 服部公益財団 理事就任
- 2017年 5月 愛知県西三河林材団体連合会 会長就任